



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2014-2015年度 R I 会長 ゲイリー C.K. ホアン



第2590地区 ガバナー
大野 清一

- 会 長 山田 正憲
- 会長エレクト 江森 国一
- 副 会 長 天野 公史
- 副 会 長 鴻 義久
- 幹 事 植田 清司
- 副 幹 事 朝日 達夫
- 会 計 渡 邊 淳
- 副 会 計 白井 康夫
- S A A 小山市 康
- 副 S A A 長井 章
- 副 S A A 青柳 紀
- クラブ会報 竹山 洋



写真提供 小池将夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555

例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)

例会場 ホテルキャメロットジャパン

創立記念日 昭和51年5月29日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/>

E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2014-2015年度 第15週報 No. 1856 2014年(平成26年) 10月17日 第1856回例会記録 10月24日発行

司 会 朝日 達夫 副幹事

結婚記念日祝 月山 勇 会員 (10月19日)

点 鐘 山田 正憲 会長

斉 唱 「それでこそロータリー」

四つのテスト 角田 伯雄 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)



ゲスト紹介

桑原 薫 様 (ゲストスピーカー・横浜港北R.C.)
鈴木 一男 様 (OWOP協会 会長)
Mr. Bandara (在スリランカ OWOP協会)

ビジター紹介 神奈川R.C 金野 克佐 様
横浜R.C 荒井 稔 様

本日〈10月24日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「手に手つないで」
 - ◆ 献 立 幕の内弁当
 - ◆ 卓 話 「日本人とゴルフ」
- 元日本タイトリスト社長 特定非営利活動法人 理事長
渡邊 一美 様
(紹介者 佐藤 勝彦 会員)

<< 本日のBGM >>

「枯葉、アラー・オータム、ニューヨークの秋 外」

会長報告

山田 正憲 会長

- ・10月度定例理事会報告
- ・地区より訃報が届いております。2590地区パストガバナー鈴木清次様(1995-96年度)(川崎西R.C)が10月9日にご逝去されたとのことです(享年82歳)。故人のご冥福をお祈りし、ここに謹んでお知らせ申し上げます。

幹事報告

植田 清司 幹事

- ・本日、例会終了後に職業奉仕によるクラブフォーラムを開催します。場所 14F アネックス

委員会報告

40周年記念事業準備委員会 委員長 吉田 隆男

◎40周年記念式典 開催日・開催場所変更の件

【変更前】

【変更後】

開催日 2016年5月28日(土) ⇒ 2016年5月21日(土)
場 所 ホテルニューグランド ⇒ ホテルキャメロットジャパン

出席報告

西山 潔 出席委員長

会員総数	56名	(33+23)名	
出席会員数	44名	(31+13)名	
出席率	95.65%		
ゲスト	3名	ビジター	2名
前回補正後	92.00%	前々回補正後	96.08%

スマイルボックス

青柳 紀 副SAA

横浜港北R.C 桑原 薫様 お久しぶりです。本日、よろしくお願い致します。

横浜R.C 荒井 稔様 本日はよろしくお願い致します。

神奈川R.C 金野克佐様 本日もお世話になります。

月山 勇君 ①結婚記念日祝い、ありがとうございました。②区民まつり参加の皆様、お疲れ様でした。③昨日の名酒会、石川さんありがとうございました。④小池さん、写真展素晴らしい(カネとヒマとマメと・・・)。

山田正憲君 ①鈴木さん、バンダラさん、先日はありがとうございました。②桑原さん、本日の卓話、よろしくお願い致します。③区民まつりに参加の皆様、お疲れ様でした。素晴らしい一日でした。

富居利貞君 ~会葬御礼~謹んでご挨拶申し上げます。皆様にはご多用中のところ、母・喜代の葬儀にはロータリー会員の多数の方にご会葬頂き、ありがとうございます。故人は、9月26日午後7時35分に具合が悪くなり、家族の看護も及ばず102歳の命を終えました。この場をお借り致しまして御礼申し上げます。ありがとうございます。

田邊正彦君 桑原様、本日の卓話、よろしくお願い致します。

石川正三君 ①先日の募金活動、大健闘の京都の女子大生たちから何通か手紙が届きました。いずれも大変楽しかった由で、皆様にヨロシクとのこと。②昨日の会、お越し頂いた方々に感謝。チャンポンで少し酔っ払いました。

伊東英紀君 ①石川さん、月山さん、河野さん、昨日はお世話になりました。②桑原様、本日はよろしくお願い致します。③申し訳ありません。本日は早退させて頂きます。

河野明光君 ①石川さん、秘蔵の酒をご提供頂き楽しい一夜を過ごさせて頂きまして、誠にありがとうございました。②鈴木会長、ようこそ。

植田清司君 ①昨日は、石川さん、美味しいお酒、ありがとうございます。②桑原さん、本日は卓話、よろしくお願い致します。楽しみにしています。

矢野修二君 桑原薫様、お久しぶりです。本日はよろしくお願い致します。

江森国一君 ①石川さん、美味しいお酒、ありがとうございます。②区民まつり参加の皆様、お疲れ様でした。

横溝 亘君 仕入れの為、来週より2週間お休みさせて頂きます。

角田伯雄君 桑原様、卓話よろしくお願い致します。

天野公史君 ①桑原委員長、本日はお忙しいところありがとうございます。②区民まつり参加の皆様、お疲れ様でした。

竹山 洋君 地区ゴルフ大会出席の皆様、お疲れ様でした。お世話になりました。

保坂一成君 昨日はありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。

但野真実子さん ①お勉強会、ありがとうございました。ピーナツ美味しかったです。②小池先生の写真は絵のようで素敵でした。唐揚げ美味しかったです。③区民まつりお疲れ様でした。河野さん、ありがとうございました。お酒を補充させて下さいませ。④名酒会、最高でした。石川さん、ありがとうございました。

加野亮一様 利き酒会、楽しかったです。ありがとうございます。バレンタインの30年、また飲みたいです。

岡部雄一郎君 石川様、昨日はありがとうございました。とても楽しく過ごせました。

青柳 紀君 先週の区民まつり、ご苦勞様でした。新記録614,050円、来年の社会奉仕委員長は大変だね。月山さんヨロシク！ワンワールドの鈴木さん、長年毎回ご苦勞様。

10月17日	22件	53,500円
本年度累計		671,080円

「職業奉仕とロータリーの綱領」

地区R情報・広報・IT委員会 委員長 桑原 薫 様
(紹介者 角田 伯雄 会員)



奉仕活動とロータリー運動

広義のserviceのなかに一般のservice（ウィンウィン型）と狭義のservice（ゼロサム型）があります。前者はサービス（中国では服務）と訳され、後者は奉仕（中国では利他主義）と訳されています。

「サービス」を徹底すれば事業は発展し、「奉仕」を徹底すれば事業は衰退します。従って、事業主にとっては「サービス」することが大切なのです。

もしも「奉仕」をする場合には、一方的な「奉仕」を「奉仕しあうこと」に高める努力が必要になります。それによってゼロサムの関係をウィンウィンの関係に変えることができますからです。これこそが「ロータリー運動」であり、そのためには「受けた恩を返さない人」を「受けた恩を返す人」に変える努力が必要になるのです。なので、ロータリー運動は倫理運動といわれるのです。

職業奉仕と社会奉仕

皆が仲良く暮らすためのルールとして、昔から知られているものに黄金律（自分がしてもらいたいことを他人に為せ・自分がされて嫌なことは他人にしない）があります。ところが「自分がしてもらいたいこと」は人によって異なるので、このルールは「あってないようなルールだ」とも言われてきました。

このルールをサービスという切り口から説明し、結果として黄金律の不備を補う形となったものが「奉仕の理想」すなわちサービスの理想像（全てのサービスはそれ相応に報われることが理想である）という考え方です。これは1911年にシェルドンの職業奉仕（1902年）から生まれたものです。

この「職業奉仕」がロータリーの根であるとすれば、「奉仕の理想」は幹であり、その一本の幹を異なる視点から見たものが二つの標語です。そして枝葉となるのが五大奉仕です。五大奉仕の一つが職業奉仕（1927年）ですから、職業奉仕には「根となるもの」と「枝葉とな

るもの」があることがわかります。

職業奉仕とは「職業を通じて社会に貢献すること」と云われていますが、これはドナルド・カーターが「自分の生きる証」について述べたものです。

「社会」にはcommunity（エリアを分かち合う仲間）とsociety（利害を分かち合う仲間）がありますが、どちらも19世紀後半には「仲間」が「仲間の集まり」という意味に変わり、やがて現在のような「社会」の意味になったのです。

職業奉仕とは「societyにサービスすること」ですが、ロータリーが生まれた当時、事業主にとってのsocietyは顧客や従業員などの職業関係者のことでした。

四つのテストのall concerned（みんな）も正しくは「関係者全員」です。つまり、職業関係者全員に公平（それ相応）にサービスする程、利益が増えるというのが「職業奉仕理念」です。それを表すのが1910年の「自分の仲間に最もよくサービスする者、最も多く報いられる」という標語です。

1911年、この標語から「自分の仲間に」という条件を外して、もう一つの標語と理念を揃えることにしました。

もう一つの標語は Service not self であり「会員同士の相互扶助を会員外へ拡大しよう」という意味でした。つまり、二つの標語の理念が「エゴイズムではなくサービス」に統一されたのです。しかしながら、エゴイズムを否定することは、生物の存在自体を否定することになるので、1917年頃notをaboveに換えたのです。つまり Service above self（超我の奉仕）は「エゴイズムよりもサービス」という意味であり（selfはselfishnessのこと）これこそが山梅吉先生訳の「サーヴィス理想」という理念のスローガンなのです。そしてこの理念を事業生活において実践することが1927年の「職業奉仕」であり、社会生活において実践することが「社会奉仕」です。

可算名詞

A 同じ単語でも可算名詞と不可算名詞では意味が変わります

	可 算 名 詞	不 可 算 名 詞
self	我	我 欲
service	サービス（服務）	奉仕（利他主義）
acquaintance	知り合い	知 識
fellowship	団 体	親 睦
membership	会 員 権	会員の質
development	造 成 地	育成・開発

*（ ）内は中国語

B 同じ単語でも単数と複数では意味が変わります

	単 数	複 数
ideal	理想像（手本）	理想（究極目標）
object	目標の全部	目標の一部

ロータリーのObject（綱領）の要点

主文の要点は「サービスのideal（理想像）と各項の理念（idea）を奨励することが、ロータリーのobject（綱領）である」ということです。ここでいうサービスとは「事業の基礎となる」ウィンウィン型サービスのことで、ゼロサム型サービスと相対するものです。また「サービスの理想像」とは「どんなサービスも、それ相応に報われることが理想である」という公平性重視の考え方のことです。

第一項の要点は「サービスを契機として知識を開発すること」です。acquaintance（知り合い）はここでは、不可算名詞なので「知識」の意味です。またas an opportunity to ～は「～を契機として」という慣用句です。

第二項の要点は「societyへのサービスにつれて、職業の道徳的水準・評価・品格が高まること」です。ただしロータリーができた頃、society（社会）は「利害を分かち合う仲間の集まり」という意味であり、それは事業主であるロータリアンからみれば職業関係者（顧客や従業員など）のことになるのです。

第三項は「サービスの理想像」という考え方を、ロータリアンが各々で、個人生活・事業生活・社会生活に応用することです。事業生活への応用が「職業奉仕」であり、社会生活への応用が「社会奉仕」です。ただしロータリーができた頃、community（社会）は「地域を共にする仲間の集まり」という意味でした。

第四項は「サービスの理想像」という志で一つに結ばれた職業人の世界的な団体を通して国際理解と国際親善と国際平和の推進に貢献することです。ここではfellowship（親睦）は可算名詞なので、団体（同じ志を共有する仲間の集まり）という意味です。またadvancementは「推進に貢献すること」です。

職業奉仕クラブフォーラム開催

テーマ「職業を通じて社会に貢献、そして社会にサービス」

10月17日（金）例会終了後に職業奉仕による第2回クラブフォーラムが開催されました。



ロータリーニュース

ポリオ撲滅：企業から支援を得るには？

ポリオ撲滅活動への支援を企業にお願いする場合、相手が地元企業であろうとグローバル企業であろうと、最善の方法は、先方の鍵となる人と連絡を取り、お願いすることです。

パキスタン・ポリオプラス委員長のアジズ・メモンさんの例をご紹介します。メモンさんは2010年、コカ・コーラ・パキスタン社の広報責任者を訪ね、全国一斉予防接種活動の広告スポンサーとなる話を持ちかけました。これに対しコカ・コーラ側は、企業の社会的責任（CSR）としてスポンサーとなることに同意し、国内でのポリオ撲滅ニュースレターの配信に協力しました。

さらに2012年、パキスタンのロータリアンとコカ・コーラ社はパートナーシップを拡大。環境・衛生の改善、水保全、教育の向上といった支援分野と結びつけて、ポリオへの認識を高めるための覚書を締結しました。活動はすぐに開始され、例えばカラチの一部地域では、水を介したポリオ感染を阻止するために、安全な水を供給する浄水システムを設置しました。

企業と協力するには少しずつ関係を築くことが大切だと、オレンジ・ロータリークラブ（米国カリフォルニア州）のジョン・パートさんは話します。彼のクラブは2008年、地元アナハイムの大リーグ球団エンゼルスとのコミュニケーション副責任者ティム・ミード氏をクラブ会合に招待し、講演をお願いしました。その後、再びミード氏と連絡を取り、彼を通じて球団の取締役副社長ジョン・カルピーノ氏にポリオ撲滅への支援をお願いしました。これを受けて球団側は、ロータリー会員がチケット500枚の販売に貢献できれば、売上げ半分をポリオ撲滅に寄付すると約束。その結果、会員はチケットを完売し、さらに“End Polio Now”のメッセージが入った球団帽子600個を売ることができました。

2009年以降は、周辺の多くのロータリークラブも参加し、毎年恒例の「エンゼルス・ロータリー・ナイトゲーム」を開催し、117,000ドルの寄付を達成しています。また試合のテレビ中継では、ポリオ撲滅の公共奉仕広告が放映されます。

5,000人を超えるロータリー会員がこのイベントに関与しており、パートさんは、ロータリーの地区ガバナーや販売・イベント推進を担当するコーディネーターとの協力も大切だと話します。

オレンジ・ロータリークラブは、地元の児童施設への支援も行っており、普段は大リーグの試合を生で見る機会などない子どもたちに、練習風景を見学させたり、特等席チケットとチームの帽子をプレゼントしたりしています。

Rotary News

次回《10月31日》の予定
夜間例会